

堀辰雄全集

第五卷



堀辰雄全集

第五卷

筑摩書房

堀辰雄全集第五卷

昭和五十三年三月三十日初版第一刷發行

著 者 堀 辰 雄

發 行 者 岡 山 猛

發 行 所 筑 摩 書 房

東京都千代田區神田小川町二ノ八

郵便番號 一〇一—一九一

電話 東京(加)七六五一(代表)

振替 東京 六一四 一二三

印刷 株式會社精興社
製本 鈴木製本株式會社

目次

翻譯

ジャン・コクトオ

コクトオ抄

ジャン コクトオ（ジャン デボルド）

ボトマック

役に立たぬもの

喜望岬

死への誘ひ

鶏とアルルカン

エリック サティ

詩集

スペイン バットリイ 羅馬 フェアリイ 熟語 海底の

春 備忘録 太陽 換言すべきもの コント

職業の祕密

マルセル・ブルウストの聲

七

七

二〇

一八

二

三

四〇

五

六四

語彙	六七
トリル 浴女 海泡石・魔法のかかったパン 薔薇の木 果實 トルウヴィル パリジャン 夜曲 村のガブリエル グラン テカアル	七三
第一章 第九章	
聖歌	八三
ピカソ	八八
無秩序と考へられた秩序について	九五
「山師トオマ」について	一五
オペラ	二三
眠られぬ夜 スフィックスの足の発見 睡眠者の標本 巴 里の街の中の一本の腕の出現 赤い袋 OHI LA LAI 空虚な町のなかの電話の音 春 アレゴリイ 十月二十四 日夜の奇蹟の説明 ジャン コクトオの劇 詩人の死	三三
俗な神祕	三三
ジャン コクトオの作品	四一
マリタンへの手紙	四四

悪い旅人……………一六〇

瑠璃草 寓話 ドン・ジュアン 海景 ヴェニスの戀

人達 アインツワイドライ 一二三 天使の毛髪 青の神祕 無題

(二篇) 獨逸語で書いた詩(五篇)……………一六二

鶏とアルルカン(削除分) 機械 コクトオの詩から

俗な神祕(削除分)……………一七四

ギヨオム・アポリネエル

アムステルダムの水夫……………二〇五

死後の許嫁……………二二二

ヒルデスハイムの薔薇……………二二九

青い眼……………二三六

ドルムザン男爵冒險譚……………二三三

I 案内人 II 美しい映畫 III ロマネスクな葉卷

IV 癩病 レプタ V コックス市

ジョヴァンニ・モロニ……………二三八

影の分離……………二七四

聖女アドラタ……………二八二

ギヨム・アポリネール詩抄……………二八七

風景 ネクタイ 鏡 小隊長 シャンバアニュの葡萄作り

感謝 一九一五年四月の夜 影法師 サン・メリイの音楽

家 雲の化身 窓 アンドレ・サルモンの結婚式にて朗讀

したる詩 水彩畫家

アンドレ・サルモン

エビグラム 無題……………三七

マックス・ジャコブ

僕の一生は三行だつた ポオドレエルぶり 寓意のな

い寓話 神祕的な空 牝鶏と眞珠から……………三二

フランシス・カルコ

大通り……………三元

ジュウル・ルナアル

雪 世界的寓話の改訂 桃色の風船……………三三

アルテュル・ランボオ

曙 BOTTOM 労働者達……………三一

フランシス・ジャム

四行詩集……………三四七

忘恩 ガンの丘にて 存在 エリコの薔薇 幻 算術の稽

古 農耕 乾いた雨 六歳の肖像 二十歳の肖像 五十五

歳の肖像 慎重 マラル・ラクリモザ 哭ける母

女嫌ひ 啞の神様

レエモン・ラジゲ

花あるひは星の言葉 引越と田舎暮し 1789 年以來

僕は考へることを強ひられてゐる。僕はそのため頭

痛がする。 ヴィナスの墓……………三五七

フィリップ・スウボオ

SAY IT WITH MUSIC WESTWEGO SWANEE

ラッグ・タイム 登攀……………三六五

アンドレ・ジイド

エル・ハザ……………三七七

プロスペル・メリメエ

マダマ・ルクレチア小路……………四二三

ユウジエニイ・ド・ゲラン

日記……………四四九

日記(削除分)……………四六九

ノワイユ伯爵夫人

生けるものと死せるものと……………五〇一

ルイズ・ラベ

ソネット集（一五五五年）……………五二

第八歌 第九歌 第十三歌 第十四歌 第二十四歌

モオリス・ド・ゲラン

日記（一八三三年）……………五九

解題……………五三

堀辰雄全集第五卷

翻譯

ジ
ァ
ン
・
コ
ク
ト
オ

